

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構・文化変動クラスター主催セミナー

# SDGsとビジネスの可能性

## ～地域からの視点

## 《趣旨》

2015年に国連で持続可能な開発目標(SDGs)が採択されました。貧困や健康、女性、環境など、2030年までに世界が達成すべき17のゴールと、169のターゲットからなっています。現在、世界の多くの国、企業でSDGsへの取り組みが始まっています。大企業だけでなく、中堅・中小企業、地方に拠点を置く企業が、SDGsへの貢献を積極的にアピールすることで、自らのブランド価値を高めているのです。

先の見えない時代、産業構造が急激なスピードで変化し、新しい価値観が次々と生まれています。企業が生き残っていくためには「価値」を生みだし続けなくてはなりません。SDGsは世界中の人々が望む「未来の価値」を現しています。

今回のセミナーでは、国連社会開発研究所で「SDGs」と「ビジネス」を社会と経済の連帯(社会連帯経済)の観点から研究している李一清氏、経営コンサルタントで『SDGsが問いかける経営の未来』(日本経済新聞出版社、2018)の共著者の1人でもある加藤彰氏をお招きして、とくに九州、地域企業におけるSDGsとビジネスの可能性についてご講演いただく予定です。

2020.1.25 **土** 14:00  
16:00

アクロス福岡セミナー室2 (2階) 〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1

参加費 **無料** 定員 **50名**

どなたでもご参加いただけます。

## お申し込み

下記のURLからお申し込みください。  
<http://toruoga.net/2020/0125/form>  
または右のQRコードを読み込んでフォームにアクセスしてください。



## パネリスト

※報告は英語(日英逐次通訳)



李一清 Ilcheong Yi

(国連社会開発研究所・シニアコーディネーター)



加藤 彰

(デロイト トーマツコンサルティング合同会社 マネージャー)



モデレーター 大賀 哲

(九州大学大学院法学研究院 准教授)

